令和６年１２月
議会局政策調査課

令和６年度

「議会広報」に関する調査・アンケートの結果について

（１）市政に関する世論調査

※市長公室の広聴広報課が実施した調査

（２）市議会ホームページ(インターネット)を活用したアンケート

※議会局の政策調査課が実施したアンケート

（１）市政に関する世論調査【広聴広報課】

（ア）目的

市民の市政に対する意識、意見、要望等を統計的手法によって的確に把握し、市政運営の有効な資料とする。

（イ）調査期間

令和６年(2024年)６月２４日 ～ ７月１６日

（ウ）対象

18歳以上の市内在住者

（エ）調査方法

・住民基本台帳から3,000人を抽出し、郵送で依頼
・回収は郵送 or オンライン

（オ）有効回収数（有効回収率）

1,204（40.1%）

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】

（ア）目的

・議会広報の充実に向けての参考資料とする。
・左記(１)の調査では質問数が限られることから、質問内容を拡げ、議会広報の実情を知る機会の一つとする。

（イ）調査期間

令和６年(2024年)８月１日 ～ ９月３０日

（ウ）対象

特段の条件なし

（エ）調査方法

・市議会だより(8月1日号)、市議会ホームページ・ＳＮＳ、「すもー」のアプリで周知
・本会議の傍聴者に協力を呼びかけ
・ＪＣのジュニアハイスクール議会(8月17日)で中学生や保護者に協力を呼びかけ
・回収はオンライン ※一部、紙での回答あり

（オ）回収数

・オンライン：103
・紙（有効）： 13
・紙（無効）： 10

※以下、紙（無効）を除いた116件について記述

（１）市政に関する世論調査【広聴広報課】

（カ）回答者の属性（性別）

・男性　　531（44.1%）
・女性　　632（52.5%）
・答えない　28（2.3%）
・無回答　　13（1.1%）

（キ）回答者の属性（年代）

・30歳未満　 96（ 8.0%）
・30～39歳　120（10.0%）
・40～49歳　159（13.2%）
・50～59歳　212（17.6%）
・60～69歳　222（18.4%）
・70歳以上　381（31.6%）
・無回答　　14（ 1.2%）

※広聴広報課が実施した調査は、議会(の情報)に接することがほとんどない方にも参加していただいたと考えられる。

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】

（カ）回答者の属性（性別）

※回答項目に「性別」を設けなかった

（キ）回答者の属性（年代）

・～10代　16（13.8%）
・20代　　3（ 2.6%）
・30代　　22（19.0%）
・40代　　27（23.2%）
・50代　　16（13.8%）
・60代　　17（14.7%）
・70代～　15（12.9%）

※政策調査課が実施したアンケートは、実施手法上、何かしらのきっかけで議会(の情報)に接した方に参加していただいたと考えられる。

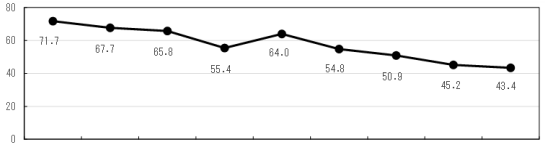
（１）市政に関する世論調査【広聴広報課】

（ク）「広報さがみはら」の閲覧状況（一つ選択）

70歳以上では
7割近くが
「読んでいる」を選択

- よく読んでいる　12.5%（約150人）
- ある程度は読んでいる　30.9%（約370人）
- あまり読んでいない　22.3%（約270人）
- 知っているが全く読んでいない　19.0%（約230人）
- 広報さがみはらを知らない　13.8%（約170人）
- 無回答　1.5%（約 20人）

計43.4%
∨
計41.3%



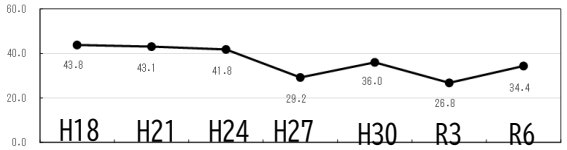
← 読まれている割合の経年変化
平成18年度71.7% → 令和6年度43.4%
※(参考)平成15年度73.4%

（ケ）「市議会だより」の閲覧状況（一つ選択）

- よく読んでいる　4.8%（約 60人）
- おおざっぱに読んでいる　29.6%（約360人）
- あまり読んでいない　22.6%（約270人）
- 知っているが全く読んでいない　15.9%（約190人）
- 市議会だよりを知らない　25.9%（約310人）
- 無回答　1.2%（約 10人）

計34.4%
∧
計38.5%

30歳代まで(男女)と
40歳代(男)は
5割以上が
「知らない」を選択



← 読まれている割合の経年変化(３年ごと)
平成18年度43.8% → 令和6年度34.4%
※(参考)平成15年度49.7%

※「広報さがみはら(月２回)」と「市議会だより(年４回)」を比較すると、「広報さがみはら」のほうが閲覧度・認知度が高かった。

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】

（ク）「広報さがみはら」の閲覧状況（一つ選択）

※「広報さがみはら」についての質問は設けなかった

（ケ）「市議会だより」の閲覧状況（一つ選択）

- よく読んでいる　14人
- おおざっぱに読んでいる　37人
- あまり読んでいない　18人
- 知っているが全く読んでいない　10人
- 市議会だよりを知らない　37人

計51人
∨
計28人

	回答者総数	読む		読まない		知らない
		よく	おおざっぱ	あまり	全く	
～10代	16			1	2	13
20代	3				2	1
30代	22	2	12	3		5
40代	27	3	10	4	2	8
50代	16	3	5	4	3	1
60代	17	2	5	1	1	8
70代～	15	4	5	5		1
	116	14	37	18	10	37

（1）市政に関する世論調査【広聴広報課】

（コ）「市議会だより」を読んでいない理由（複数選択可）

計464人（あまり読んでいない、知っているが全く読んでいない）

- 読まなくても支障がない　43.5%（約200人）
- 興味がない　25.2%（約120人）
- 読みたい記事がない　24.6%（約110人）
- 忙しくて読む暇がない　21.8%（約100人）
- 文字が多すぎて読む気にならない　12.9%（約 60人）
- 内容が硬すぎてつまらない　11.9%（約 60人）
- 言葉や文章が難しい　5.8%（約 30人）
- その他　7.8%（約 40人）
- 無回答　1.1%（約 5人）

（2）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】

（コ）「市議会だより」を読んでいない理由（複数選択可）

計28人（あまり読んでいない、知っているが全く読んでいない）

- 目にするきっかけがない(少ない) 11人　←独自に設定した回答項目
- 忙しくて読む暇がない　7人
- 読まなくても支障がない　6人
- 読みたい記事がない　5人
- 文字が多すぎて読む気にならない　5人
- 言葉や文章が難しい　4人
- 内容が硬すぎてつまらない　3人
- 興味がない　3人
- その他　2人
  - 視力障害があるため
  - 身近に、切実に感じる記事であれば読んでいる

	読まない		目にするきっかけがない	忙しい	支障なし	読みたい記事なし	文字多	難しい
	あまり	全く						
～10代	1	2	2	1		1	1	1
20代		2	2					
30代	3		2	1	2	1	1	1
40代	4	2	3	2	1	1	1	
50代	4	3	1	1	1	1	1	1
60代	1	1						1
70代～	5		1	2	2	1	1	

28

（１）市政に関する世論調査【広聴広報課】

（サ）議会広報イベントについての興味（複数選択可）

- 市議会活動の報告会　28.1%（約340人）
- 施設(議場など)の見学会　16.0%（約190人）
- 子どもの議会体験会　13.5%（約160人）
- 市議会の仕組みなどを知るための講習会　8.7%（約100人）
- その他　1.3%（約 20人）
- 特にない　47.9%（約580人）
- 無回答　2.5%（約 30人）

○ 性別・年齢分析

・男性は、50代までのいずれの年齢層も5割以上が『特にない』を選択しており、中でも「30歳未満」は7割近くが選択していた。
「60代」と「70代以上」の年齢層では、4割以上が『市議会活動の報告会』を選択していた。

・女性は、「30歳未満」と「50代」の5割以上が『特にない』を選択していた。
「30代」と「40代」は、4割以上が『特にない』を選択した一方で、3割以上が『子どもの議会体験会』を選択していた（他の年齢層は2割以下）。
60代以上は、『市議会活動の報告会』を選択した割合がやや高かった。

・『市議会活動の報告会』は、30代までは選択した割合が低く、40代以降が高くなっていた。

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】

（サ）議会広報イベントについての興味（複数選択可）

- 施設(議場など)の見学会　80人
- 子どもの議会体験会　73人
- 市議会の仕組みなどを知るための講習会　43人
- 市議会活動の報告会　34人
- その他　11人

※「特にない」の回答項目は設けなかった

『その他』の11人（30代が4人、40代が4人、50代が3人)は、『報告会』と類似の回答が複数あった。

	回答者総数	見学会	議会体験会	講習会	報告会	その他
～10代	16	11	11	7	3	
20代	3	2	1	3	2	
30代	22	15	16	6	7	4
40代	27	17	17	8	5	4
50代	16	8	11	5	6	3
60代	17	16	11	8	2	
70代～	15	11	6	6	9	
	116	80	73	43	34	11

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】　※独自に設定した質問

（シ）議会ホームページの閲覧状況（複数選択可）

- 議員の情報　32人
- 議会(日程や仕組み、取組など)の情報　26人
- 本会議や委員会の会議録　22人
- 本会議や委員会の映像　20人
- 議会広報(「相模原市議会だより」など)の情報　18人
- 閲覧したことがない　65人

	回答者総数	議員	議会	会議録	映像	広報	なし
～10代	16	4	3		1		１２
20代	3	1	1				2
30代	22	6	5	5	3	4	１０
40代	27	１０	7	7	8	4	１２
50代	16	5	4	6	6	4	7
60代	17	3	2	2	1	1	１３
70代～	15	3	4	2	1	5	9
	116	32	26	22	20	18	65

（ス）議会ホームページを見た感想（自由記述）※抜粋

- 自分のまちのために活動している人について知れてよい（～10代）
- 議会の仕組みなどが掲載されていて面白い（～10代）
- もう少し親しみがあるものがよい（40代）
- インパクト、メリハリがない（30代、40代）
- 自分が見たい情報までたどり着くのが難しい（30代、40代、50代、60代、70代以上）
- 議案だけでなく、そこに至るまでの説明資料とリンクしているとよい（30代）
- 議員一人ひとりのコメントなどがあればよい（70代以上）

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】　　※独自に設定した質問

（セ）議会ＳＮＳの閲覧状況（一つ選択）

・よく見ている　4人
・ある程度は見ている　6人
・知っているが、ほとんど見ない　27人
・存在を知らなかった　79人

	回答者総数	よく	ある程度	ほとんど見ない	知らない
～10代	16			6	１０
20代	3		1		2
30代	22	1	1	4	１６
40代	27	2	1	7	１７
50代	16			3	１３
60代	17	1	1	3	１２
70代～	15		2	4	9
	116	4	6	27	79

（ソ）議会ＳＮＳを見た感想（自由記述）　※抜粋

・こんなにも更新頻度が高いとは知らなかった。ストーリー機能やタグ機能をもっと使ったほうがいいと思う（30代）
・写真のレイアウトが工夫されていると思う（40代）
・タイムラインでチラッと見る程度（60代）
・ＳＮＳだけを見ても、議論の内容がわからない（50代、70代以上）
・市が抱えている問題など、有権者として分かりやすく関心がもてるような観点で取り上げてほしい（70代以上）

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】　　※独自に設定した質問

（タ）定例会議紹介ポスターの認知度（一つ選択）

・知っている　　26人
・知らなかった　90人

	回答者総数	知っている	知らなかった
～10代	16	３	１３
20代	3	１	２
30代	22	６	１６
40代	27	６	２１
50代	16	５	１１
60代	17	４	１３
70代～	15	１	１４
	116	26	90

（チ）議会に関する情報発信の手法（自由記述）※抜粋

・アニメやゲームとのコラボ（～10代）
・議会として、学校などの施設を訪問しての対話（～10代、20代、30代、40代、50代）
・議会として、イベントなど何かしらの機会を活用しての対話（30代、40代、60代）
・YouTubeなどを活用した、わかりやすく親しみやすい案内（30代、40代、50代）
・わかりやすい論点の掲載（30代）
・お得な情報の掲載（40代）
・手法というよりも「市民がどれだけ政治に関心を持てるか」ではないか（50代）

（２）インターネットを活用したアンケート【政策調査課】　※独自に設定した質問

（ツ）【参考】議員を身近に感じているか（一つ選択）

・日常的に感じている　13人
・感じることがある　17人
・ほとんど感じない　38人
・全く感じない　48人

	回答者総数	日常的	感じることがある	ほとんど感じない	全く感じない
～10代	16	2	1	2	11
20代	3		1	1	1
30代	22	1	1	7	13
40代	27	1	5	11	10
50代	16	1	5	7	3
60代	17	2	2	3	10
70代～	15	6	2	7	
	116	13	17	38	48

（テ）【参考】どのような時に身近に感じるか（自由記述）※抜粋

・相模原のことについて調べたとき（～10代）
・実際に会ったり話をしたりしたとき（40代、50代）
・関心のある話題が議論されているとき（50代、70代～）
・イベントや行事、地域活動で見かけたとき（～10代、20代、40代、50代、60代）
・選挙のとき（～10代、60代、70代～）
・議会中継を見たとき（40代、60代）

【調査・アンケートの結果を受けて】　今後、意識していきたいこと

○　各媒体(広報紙・ホームページ・ＳＮＳ・ポスター)について、知っていただく(目に触れる)機会を増やすことが大切である
その際には、効果的な手法(多くの方に知っていただけるタイミング)を意識することも重要である。

○　市議会だよりを読んでいただいている方には、これからも読んでいただけるよう、記事の充実に努める必要がある。

○　特集記事やコラム的な記事を検討する際には、「身近に感じている内容は手に取ってもらいやすい」という視点も
有効と考えられる。

○　世代によって、あるいは家族構成などによって、関心のある話題は異なると考えられるため、
特集記事などは「どこにフォーカスをあてるか」を意識して内容を検討することも有効と考えられる。

○　チャレンジすることが良い方向に作用するような土壌づくりが不可欠である。

調査・アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。